

■出力特性

項目	公称値	許容差
最大出力 (P _m)	210W	公称値以上 (工場出荷検査出力値)
開放電圧 (V _{oc})	31.2V	公称値の±10%
短絡電流 (I _{sc})	8.85A	公称値の90%以上
最大出力動作電圧 (V _{pm})	25.3V	-
最大出力動作電流 (I _{pm})	8.32A	-
モジュール変換効率	14.8%	-
実効変換効率	17.6%	-
真性変換効率	18.5%	-

・出力特性はJIS C 8918の基準状態によるものです。
条件1. モジュール温度: 25℃
2. 放射照度: 1000W/m²
3. 分光分布: JIS C 8914で規定する AM1.5 全日射基準太陽光

・変換効率は小数点以下2桁目を四捨五入した値です。
・モジュール変換効率 = $\frac{\text{モジュール公称最大出力}}{\text{モジュール総面積} \times \text{放射照度}}$
・実効変換効率 = $\frac{\text{モジュール公称最大出力}}{\text{セル総面積} \times \text{放射照度}}$
・真性変換効率 = $\frac{\text{モジュール公称最大出力}}{\text{有効受光面積} \times \text{放射照度}}$
有効受光面積 = セル総面積 - 電極面積

■最大システム電圧
600V 区分H

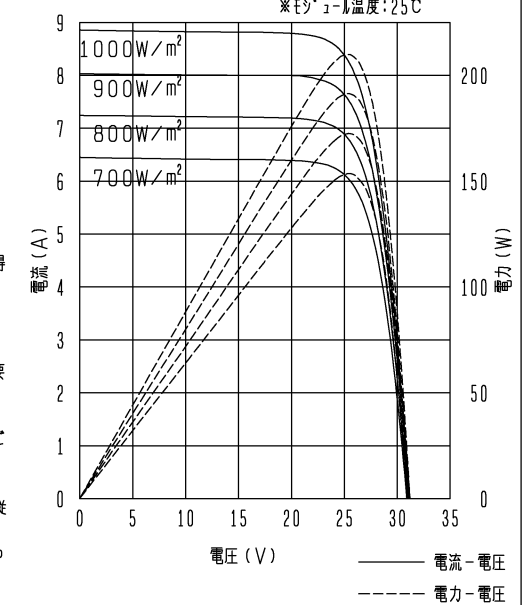
■耐荷重
短期荷重 表面側からは2400Pa
裏面側からは3000Pa*1
長期荷重 2400Pa*1
*1. 裏面側からは積雪荷重が加わらないこと

- 注記
- 本製品は、(財)電気安全環境研究所PVM認証取得品です。
 - 重塩害地域を除く地域に設置できます。
重塩害地域: 海水のしぶきが頻繁にかかり、強風時には海水が直接かかる地域
上記地域外でも重塩害地域に準じた扱いが必要な場合がありますのでお問い合わせください。
 - 濡れた状態や高湿度の雰囲気等で保管するとガラスのやげが発生することがありますので、保管環境にご注意ください。
 - ガラス面には極力触れないようにしてください。
 - 指示なき寸法公差は、JIS C 8918 (左下表)に従います。
 - 据え付けは、当社推奨部材の据付工事説明書に従ってください。
 - 確実にアース工事を行ってください。
 - モジュール表面の色調が設置後、部分的に変化することがありますが、発電性能には影響ありません。
 - 製品納入時、性能に影響する著しい目視上の欠陥 (JIS C 8990で規定) が無いこととします。

品番	品名	材質	備考(色調等)
01	太陽電池セル	単結晶シリコン	□156、4本バス電極
02	カバーガラス	熱処理ガラス	AR処理品
03	充填材	EVA	
04	バックフィルム	耐候性フィルム	色調: 黒
05	ガラス端保護材	フチ系	
06	フレーム	アルミ合金	色調: 黒 表面: アルマイト処理*
07	端子ボックス		ハイバスタイオット入り
08	出カケーブル	CV線	長さ: (+) 875 ± 50mm (-) 875 ± 50mm 防水コネクタ付き
09	定格ラベル	ホリレジスタフィルム	色調: 銀

*加工面にアルマイト処理はしておりません。そのため、色調は銀色となります。

■放射照度毎の出力特性



*仕様は場合により変更することがあります。

第3角図法		作成日付	2013-04-08	形名	太陽光発電システム 太陽電池モジュール(外形図) PV-MA2100KK
		検認	高見		

